

令和2年度

法人事業報告書

社会福祉法人 一粒の麦の会

目次

法人事業報告書

1. 令和2年度事業・活動の総括	3
2. 法人役員、評議員、評議員選任・解任委員	5
3. 理事会開催状況	6
4. 評議員会開催状況	7
5. 法人借入金償還状況	7
6. 職員人事異動状況	8
7. 職員配置状況	8

施設事業報告書

【1】 指定障害福祉サービス事業所 みのり （生活介護・就労継続支援B型／多機能型 日中一時支援事業）	10
【2】 就労継続支援B型事業所 カンパニー	15
【3】 指定特定相談支援事業所 ブレス	18
【4】 指定共同生活援助事業所 サン	20
【5】 放課後等デイサービス事業所 チェリー	24
【6】 高齢者支援複合施設 パスカ	27
【7】 賃貸住宅（社員寮・アパート）神羊館	30
【8】 生活困窮者女性支援 カリタス佐世保ファミリーサポートセンター	31

令和2年度 法人事業報告

法人の基本理念・実践指針を基とし、カトリックの教えに基づき、一人ひとりが人間らしく笑顔で生きていけるよう、職員一丸となり支援出来るように努力致しました。その結果、利用者・職員共に笑顔が増えたように思えます。

社会福祉法人として、今後さらにガバナンスの確立とコンプライアンスの遵守を実践して行きたいと考えます。

1. 令和2年度事業・活動の総括

(1) 財政健全化

・江迎町栗越 199 への事業所、人材の一極集中による経費削減と情報の共有

前年度本部事務所移転後、令和2年4月に相談支援事業所、5月に就労継続支援B型事業所を栗越へ移転し、施設を集約する事が出来ました。これにより各事業所間の業務状況を可視化する事で、更なる情報の共有が図れました。また移転に伴い賃借料等の経費の削減をする事が出来ました。

・管理者会議にて収入支出の毎月検討の実施

事業所の集約化により、管理者会議の開催がスムーズとなりました。各事業所より、毎月「進捗状況報告書」の中で、収入(過誤調整・新規加算・加算終了)についての報告をするように致しました。収入増につながる方法や、減収対象となる事項等についての情報を共有する事で、管理者としての経営運営に関しての意識が高まったと考えます。

また、キャッシュフローの報告など収支について検討し、さらなる経費節減に繋げる事が出来ました。

(2) 人材の確保と育成の強化

・人事評価制度の導入とキャリアアップシステムの構築

令和2年10月、全事業所の施設長面談を行い、各施設での取り組みと現状について確認を致しました。各施設長へは、職員全員の面談を実施し、評価・査定をして冬の賞与を支給する事を伝え実施致しました。

・施設長面談に於いて、リスクマネジメント委員会の立ち上げについての説明を致しました。主たる目的は事故を起こさないようにする事ではありますが、事故が発生してしまった際の対応が重要になります。教育の視点で、委員のメンバーは出来るだけ施設長以外の職員で構成し、介護の実践を通し情報の共有を図る事、また他の職員の教育へ繋げる事をお願い致しました。

・キャリアアップシステムの作成に関しては十分検討出来ませんでした。次年度、引き続き課題として取り組みたいと思います。

・法人間異動

本年度の職員採用人数は10名、退職者は13名、法人間の異動者は3名でした。異動された1名はご本人の希望されていた部署ではありましたが、2か月後退職されました。人事に関しては慎重に取り扱う事が重要であり、今後の課題と考えます。

人材の確保の点では大きな問題はありませんでした。

・研修の実施

全職員対象に法人研修を2回実施しました。

7月16日・17日「アンガーマネジメントについて」・・・講師：松嶺施設長

12月8日・9日「虐待防止と権利擁護について」・・・講師：朝永施設長

出席者：7月73名（ビデオ研修7名）・12月72名（ビデオ研修9名）

当日出席出来ない職員には、ビデオ研修を行い全職員受講する事が出来ました。受講後全員にレポート提出をしてもらい、その成果を日頃の支援に繋げています。

今後は施設外研修を増やしキャリアアップを図りたいと考えます。

(3) 広報機能の強化

・ホームページの法人内運用、必要時更新

9月の管理者会議にて、更新する旨の説明を致しました。その後、基本理念・各事業所の概要についてなど、変更された事項についての更新を致しました。今後、適時更新する事で、多方面での広報活動を実施して行きたいと思います。

・広報誌の発行

事業所ごとの広報誌は適宜発行致しました。次年度は法人全体の広報誌発行が出来る様、準備をして行きたいと思います。

(4) 中長期計画の策定

・3か年計画の作成

本年度具体的な計画立案には至りませんでした。次年度、財政、組織作り、サービスの強化が図れるよう、法人の発展をめざし計画的に実施出来るように取り組みたいと思います。

2.法人役員、評議員、評議員選任・解任委員

(1)役員、評議員、評議員選任・解任委員

(令和2年4月1日現在)

役職	定数	氏名
理事	6	山本主税(理事長)、松尾あけみ、末永さち子、小瀬良愛子 朝永誠一郎、平本恵美子
監事	2	田村繁幸、西司
評議員	8	山口英明、中村泰子、麓雅興、田舞ユキ子、松尾裕幸、元谷洋見 久松健吾、池田茂則
評議員選任・解任委員	4	日数谷初夫、新立文子、田村繁幸(監事)、浜崎久美(事務長)

(令和3年3月31日現在)

役職	定数	氏名
理事	6	山本主税(理事長)、小瀬良愛子(業務執行理事)、松尾あけみ 朝永誠一郎、平本恵美子、松嶺洋平
監事	2	田村繁幸、西司
評議員	7	中村泰子、麓雅興、田舞ユキ子、松尾裕幸、元谷洋見 久松健吾、池田茂則
評議員選任・解任委員	4	日数谷初夫、新立文子、田村繁幸(監事)、浜崎久美(事務長)

(2)就任・退任役員

①就任役員

	役職名	氏名	就任年月日	備考
就任	理事	松嶺洋平	令和2年6月12日	

②退任役員

	役職名	氏名	退任年月日	備考
退任	理事	末永さち子	令和2年6月12日	
退任	評議員	山口英明	令和3年2月8日	

3.理事会開催状況

	議題内容	審議結果
<p>第1回理事会 令和2年5月29日 理事 5名 監事 2名 欠席 1名</p>	<p>第1号議案 平成31(令和元)年度事業報告の承認の件 第2号議案 平成31(令和元)年度計算書類等の承認の件 第3号議案 定款変更の件 第4号議案 定時評議員会の招集・決議省略の件 報告事項 理事長の職務執行状況の報告 監事監査の報告 / 行政監査の報告</p>	<p>承認 承認 承認 承認</p>
<p>第2回理事会 令和2年9月18日 理事 6名 監事 2名</p>	<p>第1号議案 山本理事長借入金承認の件 第2号議案 松尾理事借入金承認の件 第3号議案 小瀬良理事借入金承認の件 第4号議案 朝永理事借入金承認の件 第5号議案 平本理事借入金承認の件 第6号議案 松嶺理事借入金承認の件 第7号議案 旧役員借入金返済に伴う資金拠出承認の件 第8号議案 債務承認弁済契約書締結の件 第9号議案 評議員選任・解任委員会の 運営に関する規程の件 第10号議案 役員及び評議員の報酬に関する規程の件 第11号議案 業務執行理事の互選の件 報告事項 理事長の職務執行状況の報告</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p>
<p>第3回理事会 令和3年2月19日 理事 6名 監事 2名</p>	<p>第1号議案 パートタイム職員就業規則案 第2号議案 令和3年度事業計画案 第3号議案 令和3年度予算案 第4号議案 定款細則変更(業務執行理事 業務分担執行事項の追加)の件 第5号議案 基本財産の処分(国土交通省土地売買)の件 第6号議案 評議員会招集決議 (場合によっては評議員会決議の省略)の件 報告事項 理事長及び業務執行理事の職務執行の報告 佐世保市実地指導報告 相談支援事業所プレス サービス付き高齢者向け住宅パスカ</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認</p>
<p>第4回理事会 令和3年3月12日 理事 6名/監事2名</p>	<p>第1号議案 パートタイム職員就業規則条文変更案</p>	<p>承認</p>

4. 評議員会開催状況

	議題内容	審議結果
定時評議員会 令和2年6月12日 評議員 8名	第1号議案 令和2年度予算の承認の件 第2号議案 松嶺理事候補者の理事選任の件 第3号議案 平成31年度計算書類等の承認の件 第4号議案 定款変更の件 報告事項 令和2年度事業計画 行政監査の報告 監事監査報告 平成31年度事業報告	承認 承認 承認 承認
評議員会 令和3年3月12日 評議員 4名 監事 2名 欠席 3名	第1号議案 令和3年度予算案 第2号議案 基本財産の処分(国土交通省土地売買)の件 報告事項 佐世保市実地指導報告 相談支援事業所プレス サービス付き高齢者向け住宅パスカ	承認 承認

5. 法人借入金償還状況

(令和3年3月31日現在)

借入先	当初借入額	年間返済額	借入残額	備考
十八親和銀行 (旧十八銀行)	46,500,000	3,502,119	14,456,262	サン北田
日本政策金融公庫	10,000,000	2,134,287	2,625,000	法人全体運営資金
日本政策金融公庫	20,000,000	4,266,195	8,625,000	法人全体運営資金
十八親和銀行 (旧十八銀行)	190,000,000	11,789,700	126,732,147	パスカ
十八親和銀行 (旧十八銀行)	40,000,000	5,830,400	7,087,000	みのり別館
十八親和銀行 (旧親和銀行)	53,550,000	3,342,900	40,404,184	サン江迎
	31,450,000	1,961,495	23,707,816	神羊館
役員借入	19,000,000	6,300,000	12,700,000	法人全体運営資金
役員借入	2,500,000	0	2,500,000	上記役員借入完済後返済開始
計	413,000,000	39,127,096	240,037,409	

6.職員人事異動状況

(令和2年度中)

	新規採用	非常勤↔常勤	退職	増減
常勤	7	2	10	-1
非常勤	3	1	3	1

7.職員配置状況

(令和3年3月31日現在)

	常勤	非常勤	合計
人数	59	21	80

令和2年度

施設事業報告書

社会福祉法人 一粒の麦の会

指定障害福祉サービス事業所 みのり (生活介護・就労継続支援 B 型 / 多機能型 日中一時支援事業)
就労継続支援B型事業所 カンパニー
指定特定相談支援事業所 ブレス
指定共同生活援助事業所 サン
放課後等デイサービス事業所 チェリー
高齢者支援複合施設 パスカ
賃貸住宅(社員寮・アパート) 神羊館
生活困窮者女性支援 カリタス佐世保ファミリーサポートセンター

【1】指定障害福祉サービス事業所 みのり

(生活介護・就労継続支援B型／多機能型

日中一時支援事業)

(1) 概要

4月に事業所名を『指定障害福祉サービス事業所サクラ』から『指定障害福祉サービス事業所みのり』に変更しました。

世界中で新型コロナウイルスが流行し、事業所内でも感染予防のために利用者の毎日の健康チェックと送迎前の検温と消毒を行ないました。生活介護と就労継続支援B型の共有を減らすために、朝礼や終礼は別々に過ごし、食事も別室で行い、三密を避けました。日中一時支援事業でも日曜日の利用は家族の意向とコロナウイルス対策のために1月からの利用を控えていただきました。事業所行事も減りましたが、少人数で出来る活動や感染予防に努めることを重点的に考え、室内やグラウンドでのレクリエーションはおおむね出来ました。

生活介護では重度障害者支援加算を毎日行うために、2名の強度行動障害支援者を置き、毎日の手厚い支援を行なうことが出来るようになったことが大きな成果です。また、利用者の定員遵守を念頭に置き、定員超過がないように月の利用予定を立て、細かな支援が行えるように職員配置を行なうことが出来ました。

就労継続支援B型では裁縫作業のスキルアップを目指し、ミシンを使って丁寧な商品に仕上げることが出来るようになりました。

(2) 利用者状況

① 登録者数

生活介護

居住地	利用者数	請求市	利用者数
佐世保市	13名	佐世保市	8名
		長崎市	1名
		京都市	1名
		松浦市	1名
		平戸市	2名
平戸市	1名	平戸市	1名
松浦市	1名	平戸市	1名
合計		15名	

就労継続支援 B 型

居住地	利用者数	請求市	利用者数
佐世保市	8名	佐世保市	6名
		平戸市	2名
合計	8名		

② 区分別利用者数

生活介護

障害区分	延人数	1ヶ月平均利用者数
無し	0	0
1	0	0
2	0	0
3	344	28.7
4	655	22.8
5	1,285	20.7
6	1,686	23.2
合計	3,970	

就労継続支援 B 型

障害区分	延人数	1ヶ月平均利用者数
無し	315	22.4
1	0	0
2	303	25.1
3	430	24.6
4	738	22.8
5	15	1.3
6	242	20.2
合計	1,728	

③ 年間退所・入所状況

生活介護

退所日	性別	退所先	入所日	性別	備考
6月18日	女性	他事業所	11月1日	女性	みのりB型より移行
6月30日	男性	他事業所			

就労継続支援 B 型

退所日	性別	退所先	入所日	性別	備考
10月31日	女性	みのり生活介護へ 移行	10月1日	女性	雲仙市の事業所より 移行
8月31日	男性	他事業所			

(3)利用者支援

①生活介護

ア 利用者対応

- ・看護師が常勤で配置できたことでストレッチや軽運動などの支援を行なえるようになりました。
- ・コロナ対策のため、健康チェックと送迎時の検温と消毒を徹底し、感染予防を行ないました。
また、コロナ交付金により空気清浄機やマスク、消毒液などを充実させることができました。

イ 日中活動

- ・創作活動なども含め、利用者の特性に合わせた活動が行えました。
- ・入浴や洗顔などで清潔保持を支援しました。

ウ 職員の資質向上

- ・朝礼や終礼時に特変ある利用者があれば報告し、チーム力を高めることができました。また、休んでいた職員も状態がわかるように業務連絡ノートにて確認するように徹底するようにしました。
- ・不適切ケアや虐待防止について研修を行い、職員一人一人が意識しながら支援を行なうことが出来ました。
- ・リーダー研修を行い、リーダーの在り方ややるべきことの徹底に努めました。

②就労継続支援 B 型

ア 生産活動

- ・コロナで必要なマスクの販売を行ない、新聞に取り上げられたことで、沢山の方に注文を頂き、裁縫のスキルがアップしました。
- ・7月からビニール袋有料化に伴い、エコバックが必要ということで、エコバックの作成に取り掛かりました。

イ 相談

- ・モニタリング以外でも利用者が困っている時には一対一での相談を行い、本人が無理なく通所できるようにアドバイスや面談を行うようにしました。

ウ 利用者健康管理

- ・生活介護事業と同じく、消毒や検温を行ない、体調管理に努めました。

エ 職員の資質向上

- ・不適切ケアや虐待防止について研修を行い、職員一人一人が意識しながら支援が行えるようにしました。

(4) 生産活動売上と平均工賃

① 売上

生活介護

生産活動内容	令和2年度実績
自動販売機	255,852
野菜売上	0
パン販売	120,000
その他軽作業	4,700
合計	380,552

就労継続支援B型

生産活動内容	令和2年度実績
パスカ業務	0
エミネント	19,296
給食配膳・野菜仕分	480,000
その他作業	250,404
合計	749,700

② 工賃

生活介護

内訳	内容
支給金額	396,460 円
一人当たり月平均支給額	2,573 円
月平均支給人数	13 名

就労継続支援B型

内訳	内容
支給金額	748,750 円
一人当たり月平均支給額	7,719 円
月平均支給人数	8 名

(5) 年間行事報告

4月	3日花見	11日イースター		
5月	ロザリオの月			
6月				
7月	16・17日法人研修			
8月	15日聖母の被昇天	24日夏祭り	31日スイカ割り	
9月	24日健康診断			
10月	ロザリオの月	13日運動会	31日ハロウィン	

11月	1日コスモス見学	6・19日巡回歯科	21日インフルエンザ	27日消防訓練
12月	8・9日法人研修	25日クリスマス会	28日もちつき	30日仕事納め
1月	4日仕事始め	15日新年祝賀会 (成人式)		
2月	2日節分			
3月	3日ひな祭り	23日健康診断		

【2】就労継続支援 B 型事業所 カンパニー

(就労継続支援 B 型)

(1) 概要

4月に事業所名を『就労継続支援 B 型事業所サクラ Co.』から『就労継続支援 B 型事業所カンパニー』に変更しました。

昨年度末より、新職員体制になり、利用者への支払い工賃額の増加と、配置による加算での収入の増加を目的として、目標工賃達成指導員を配置し、より公平な工賃評価額の設定、売上向上に向けての作業内容の分析を行ってまいりました。

しかしながら、授産部門では、新型コロナウイルスの影響もあり、お客様・受注先への販売や配達制限・停止期間も長く、売上減少の傾向にあったものの、一部法人内職員の営業・紹介へ転換する事で、売上・工賃支給額低下を防ぐ結果となりました。また、新型コロナウイルスの影響を受けにくい農業等の屋外作業を増強させる事で、支払い工賃額の維持・向上を行うことができました。

利用者の利用率については、新型コロナウイルスの影響を受けての、微少な体調の変化での欠勤も散見されましたが、結果、現在まで、新型コロナウイルス・インフルエンザの感染者も出ず運営できている状況です。

(2) 利用者状況

①登録者数

	令和2年4月1日現在		令和3年3月31日現在	
登録者数	居住地	請求市町村	居住地	請求市町村
佐世保市	17名	15名	16名	14名
平戸市	2名	4名	1名	3名
松浦市	2名	2名	2名	2名
佐々町	2名	2名	2名	2名
合計	23名	23名	21名	21名

②年間退所・入所状況

退所日	性別	退所先
令和2年4月30日	男性	他法人A型事業所利用
令和2年6月30日	女性	他法人B型事業所利用

③令和2年度月別登録者数・のべ利用者数(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所 日数	26 日	26 日	26 日	27 日	27 日	26 日	27 日	25 日	26 日	24 日	24 日	27 日	311日
登録 者数	23	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	256
利用 者数	417	407	414	401	383	392	434	386	369	353	373	436	4,765

平成31年度月別登録者数・のべ利用者数(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所 日数	26 日	28 日	27 日	27 日	27 日	25 日	27 日	26 日	25 日	24 日	25 日	26 日	313日
登録 者数	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	24	277
利用 者数	410	439	436	444	363	409	442	445	399	366	374	438	4,965

※平成31年度5月・6月は行事の為、日曜日の開所がありました。

(3) 事業収益

①訓練等給付費

登録者数は前年より2名減少しましたが、目標工賃達成指導員配置加算により、訓練等給付費支給額は前年比+9.8%(+3,324,680円)の37,250,870円でした。

次年度は報酬改定により、報酬単価が一部変更になり、一日当たりの報酬単価が589単位から611単位へなりますが、職員の各種研修会の参加や、資格取得を促し、少しでも利用者が健康で充実した利用ができるよう、環境整備に努めます。

②就労支援事業収益(単位:円)

部 門	令和2年度実績	平成31年度実績	前年比
清掃・ハウスクリーニング	1,580,000	1,770,444	-190,444
農業・農業支援	1,754,620	1,010,310	744,310
洗車・車両メンテ	419,600	576,300	-156,700
パン工房	4,416,734	5,731,554	-1,314,820
合 計	8,170,954	9,088,608	-917,654

③就労支援必要経費(単位:円)

部 門	令和2年度実績	平成31年度実績	前年比
材料費	3,736,324	4,227,939	-491,615
経費(光熱費・維持費等)	820,223	1,591,158	-770,935
合 計	4,556,547	5,819,097	-1,262,550

前年度は水田の管理不足による減収であったため、今年度は水田管理の徹底を図り、6月の長雨等の影響等で気候条件は良くなかったものの、米の総収量は前年比+900kgの3450kgでした。

パン工房は新型コロナウイルスの影響による収入減が懸念されましたが、無駄をなくした在庫の徹底管理と、完全受注製造に切り替えたことにより、総売り上げ額は減少したものの、利益率は上がっています。また、これまで職員主体での製造が多い状況でしたが、今年度は利用者主体での製造時間を増やす等、より利用者が充実して仕事ができる環境の整備にも努めてきました。

④利用者工賃・賞与

部 門	令和2年度実績	平成31年度実績	前年比
利用者工賃	3,534,750	3,348,920	185,830
賞与	585,000	640,000	-55,000
合 計	4,119,750	398,8920	130,830

前年度は1人当たりの平均工賃月額14,400円

今年度は16,092円でした。

(4)年間行事報告

4月	水稻苗作り・田植え	スポーツ活動		職員会議・支援会議
5月	障がい者スポーツ大会(中止)	スポーツ活動		職員会議・支援会議
6月	引越し作業・Tボール大会(中止)	スポーツ活動		職員会議・支援会議
7月	海水浴	スポーツ活動	法人研修	職員会議・支援会議
8月	コシヒカリ稲刈り	スポーツ活動		職員会議・支援会議
9月	バーベキュー	スポーツ活動	健康診断	職員会議・支援会議
10月	芋ほり・もち米稲刈り	スポーツ活動	歯科検診	職員会議・支援会議
11月	魚釣り大会	スポーツ活動		職員会議・支援会議
12月	もちつき	スポーツ活動	法人研修	職員会議・支援会議
1月	成人祝い(延期)	スポーツ活動		職員会議・支援会議
2月	調理会(カレーライス)	スポーツ活動		職員会議・支援会議
3月	成人祝い・花見	スポーツ活動	健康診断	職員会議・支援会議

【3】指定特定相談支援事業所 ブレス

(1) 概要

4月に事業所名を『指定特定相談支援事業所サクラ』から『指定特定相談支援事業所ブレス』に変更しました。

令和2年度も引き続き“網目の漏れを無くす”をスローガンにおき、毎月、月初めに目標件数を計画し、翌月初めに目標に対する前月実績報告、達成できなかった場合の原因究明を継続して行いました。

結果、平成31年度事業収益 3,990,410 円→令和2年度事業収益 4,943,500 円の増収となりました。今年度も継続していくとともに、各種研修会等への参加を行い、最新の情報の取得・スキルアップに努め、法人の情報提供も行ってまいりたいと思います。

10月に実施された実地指導の結果、指摘事項は無かったものの、法定代理受理により受けた相談支援給付費の額を支援対象保護者・ご家族に対し通知されていなかったことや、サービス利用計画書・利用契約書及び重要事項説明書等への日付の記入漏れを指導されました。今後、十分に確認を行い、繰り返す事が無いよう留意してまいります。

(2) 相談実績

実績							
計画作成		計画相談		75 件(+11)			
		障害児相談		71 件(-13)			
モニタリング		計画相談		93 件(+21)			
		障害児相談		41 件(+15)			
支援方法(のべ数)							
訪問相談	来所相談	同行支援	電話相談	担当者会議	関係機関調整	その他	合計
231(+37)	46(+17)	55(+23)	24(-38)	31(-1)	0	0	404(-24)

支援内容(のべ数)			
支援方法	件数	支援方法	件数
福祉サービス利用に関する相談	372	家計、経済に関する支援	1
社会資源の活用に関する支援	1	生活技術に関する支援	0
障害や病状の理解に関する支援	0	就労に関する支援	3
健康・医療に関する支援	22	社会参加に関する支援	0
不安の解消・情緒安定に関する支援	2	余暇活動に関する支援	0
保育・教育に関する支援	2	権利擁護に関する支援	1
家族関係・人間関係に関する支援	0	その他福祉に関する支援	0
		合計	404(+23)

障害別利用者(実人数)							
	知的	身体	精神	発達	高次脳機能	難病	その他
障害者	129	46	48	4	0	0	0
障害児	43	18	1	37	0	0	0
						合計	326

【4】指定共同生活援助事業所 サン

(1)概要

令和2年度はコロナ禍による感染対策と外出制限された利用者各位のストレス軽減に注力した1年でした。一方で 厚生労働省のガイドラインが明示され、自然災害に対する避難計画が策定できた事、訪問看護サービスによる夜間支援時のオンコール体制が拡充された事により、今まで職員 の負担となりつつあった事項に道筋をつける事ができ幸いでした。

運営面では5月末に共同生活住居アンナを廃止し、新たに佐世保市鹿町町大屋に共同生活住居大屋を開設しました。それに伴い事業所名を指定共同生活援助事業所サンとし、各ホームの名称をサン北田 サン大屋 サン江迎へ、定員数を24から23名とし佐世保市へ変更申請しました。また同月にサービス管理責任者を専任に配置した際佐世保市より、定員20名以上に該当する事業所では専任の管理者が望ましいと指導を受けました。ただし、当事業所では年間を通して人員不足は解消されず、指導事項は未だ改善できていません。

(2)利用状況

利用状況は心身の状態と本人の意思を尊重した結果、3件の利用契約終了がありました。一方7月に体験利用された他法人グループホーム利用者様1名が9月に正式契約、9月に実習の為短期入所を利用された特別支援学校高等部3年生1名が、翌年4月からの正式契約に繋げることができました。

①障害区分別利用者数

項目	年間延人数	1日平均
区分1以下	0人	0人
区分2	363人	1.0人
区分3	2,340人	6.4人
区分4	871人	2.4人
区分5	2,502人	6.9人
区分6	1,739人	4.8人

②共同生活住居別利用者数

項目	年間延人数	1日平均
北田A	1,620人	4.5人
北田B	1,458人	4.0人
大屋	1,375人	3.8人
江迎C	1,665人	4.6人
江迎D	1,665人	4.6人

③障害種別利用者数

項目	療育手帳	精神手帳	身体手帳	難病	重複
人数	14名	2名	0名	0名	6名

④利用者内訳

項目	長崎市	京都市	佐世保市	平戸市	松浦市
請求自治体	1名	1名	13名	6名	1名

⑤退去及び新規利用者一覧

項目	性別	障害特性	事由
退去者①	男性	精神 療育	本人による著しい契約違反により4月末で契約解除となり、自宅へ戻られました。
退去者②	女性	療育 身体	本人希望により6月末で日中支援型ホームへ転居されました。
退去者③	女性	療育	保護者意向により6月末で包括型ホームへ転居されました。
新規契約者①	女性	療育	地元に近いという理由で本人と保護者の希望により、体験利用後9月から利用開始されました。

(3) 重点目標に対する取り組み

①夜間支援(救急時対応及び安全対策)

従来 夜間帯の救急時オンコール体制は管理者及び看護師が対応していましたが、本年度より自立支援医療制度による訪問看護利用が可能となり、救急時対応を相談出来る体制を整備する事ができました。また、令和1年度に懸案事項だった頻回な救急搬送に関しては該当者が在籍しなくなったため終息に至りました。

②健康管理と通院支援

各ホームで朝夕バイタル(血圧測定、検温)をチェックし、体調変化時は通所事業所看護師の協力を得、看護師によるチェックを実施しました。結果 既往症を含めた病症及び障害が重症化する事なく、迅速に対応できました。

利用者の皆様が定期及び緊急受診する際は、通院に同行し医師の指示、服薬内容を関係各位へ書面で伝え、情報共有に努めました。

③感染対策

法人内感染症対策委員会のマニュアルに沿った対応を職員に周知徹底し、面会制限期間においても訪問看護等利用者のストレス軽減となるサービスは継続しました。佐世保保健所からの情報等を参考にし、コロナ助成金による必要な物資を補充しました。

④防災対策

サン江迎が洪水避難区域に位置する為、災害時避難計画を策定し、佐世保市に提出しました。同様にサン北田及びサン大屋に関しては、非常時の避難経路と方法を策定しました。職員会議やミーティングでは施設周囲及び通勤経路の危険箇所の情報共有と、非常時の連絡網の周知徹底を図りました。その結果、昨年夏の台風と年末年始の降雪時に迅速に対応する事ができました。

⑤相談支援

当事業所では利用者の情緒が安定し穏やかに生活する事ができるよう、適時に相談の場を設けています。その際、1回の相談時間を15～30分とし、日数をあけて数回に分けて行いました。相談を重ねるうちにご自身の本当の想いに気付き、本来持っていた能力を取り戻す事ができた事例がありました。担当した職員は貴重な場に立ち会う事ができ、良き成功体験となりました。

⑥施設備品の入替と居室の整備

新しく開設したサン大屋は日本家屋であった為、玄関等段差を解消する踏み台と手すりを設置しました。サン北田・サン江迎では耐用年数をこえた電化製品の入替を行い、利用者の皆様は変わらぬ日常を送る事ができました。

居室は加齢と病症の変化に伴う生活動作の変化により、家具の配置や物品の補充を行いました。

⑦余暇支援

従来と違い限定された期間内で外出及び面会を許可しました。状況が理解できず不穏になられる方が数名いらっしゃいました。一方で外出が制限され、屋内で過ごす時間を有効活用できるよう食事や健康法等に注力し、一定の支持を頂きました。

⑧職員教育

当事業所は職員の勤務時間が多様な為、情報共有事項や各報告書を回覧し周知徹底するよう努めました。また、職員会議を円滑に進める事ができるよう、ファシリテーターが事前にテーマを決め、当日は職員各位がポイントを絞って活発に討議できるよう工夫しました。

年度当初予定していた外部研修に参加する事ができませんでしたが、資格所有者による伝達講習を行いました。事例検討の際は野中式事例検討を用い、専門用語やモデル事例は各ホームでの事例に置き換える事で認識を共有する事に繋がりました。

(4) 年間行事報告

	利用者スケジュール	事業所スケジュール	会議 研修他
4月	・誕生会		・支援会議 ・モニタリング

5月	・誕生会 ・1名退所	・事業所名他変更申請	・支援会議 ・モニタリング
6月	・2名退所	・サン大屋開所	・支援会議 ・モニタリング
7月	・誕生会		・支援会議 ・モニタリング ・救命救急研修 ・法人研修
8月	・誕生会 ・夏季帰省	・消防総合訓練	・支援会議 ・モニタリング
9月	・誕生会 ・定期健康診断 ・1名入居開始	・定期健康診断	・支援会議 ・モニタリング
10月	・誕生会		・支援会議 ・モニタリング
11月	・誕生会 ・インフルエンザ予防接種	・インフルエンザ予防接種	・支援会議 ・モニタリング
12月	・誕生会 ・冬季帰省	・消防総合訓練	・支援会議 ・モニタリング ・SAWA会
1月	・誕生会 ・冬季帰省		・支援会議 ・モニタリング
2月			・支援会議 ・モニタリング
3月	・誕生会 ・定期健康診断	・定期健康診断	・支援会議 ・モニタリング

【5】放課後等デイサービス事業所 チェリー

(1) 概要

昨年度において県より指導を受けていた定員超過に対しては、ご家族の利用希望を計画的に調整しご協力をいただき定員超過には至りませんでした。

コロナ禍における支援学校の臨時休校(3/4～4/7・4/21～5/10)や緊急事態宣言等で行事や外出支援、社会体験などが実施できない状況にありました。また職員の健康管理、利用者・家族の状態把握、毎日の消毒作業など感染防止の徹底を行ってきました。

事業所職員の退職や非常勤への移行等あり、人件費の削減にはつながったものの、職員の高齢化や疾病などにより重度利用者対応が課題となっています。

(2) 重点目標に対する取り組み

①計画的な利用により稼働率を上げる

定員超過には至っていませんが、稼働率の低下顕著となっています。登録利用者を増やし稼働率が上がるよう努めています。

②③療育・家族支援について

重度の知的障害児(A1)が多数を占めるため、強度行動障害支援方法を用いて子供たちが理解しやすく、ストレスの少ない環境づくりを注意して行っています。また子供たちの成長に合わせて支援も変化していくため、毎日のミーティングやケース会議をもとに情報の共有を行いながら支援につなげています。ただ、重度の利用者が多く、自傷・他害や多動もありマンツーマン対応が必要で、日常生活動作(排泄、食事、更衣等)の基本的なことの反復指導にも時間を要するため人手がかかっています。

家族支援においても、家族の声を聴き洩らさないようにその都度真摯に対応して、信頼を得ることができるよう努めています。

④職員における資質向上について

利用者の療育や安全を確保する観点から、職員の資質向上の為、毎月の施設内勉強会を行いサービスの質の向上に努めました。またコロナ禍で強度行動障害支援の外部研修に参加できなかった為、リモート研修等への参加へ向けてパソコン環境を整備し、職員の勤務調整を行い極力参加できるようにしていきます。今後も継続して積極的に内部・外部研修を活用し、職員の資質やサービスの質の向上に努めています。

(3)年間利用状況(利用定員 10名)

新規利用者(0名)

解約者(1名 平戸の利用者 家族の就労都合の為近隣の事業所へ移行)

月	登録人数	利用延人数	稼働日数	稼働率
4月	16名	196名	26日	73%
5月	16名	186名	25日	72%
6月	16名	185名	26日	71%
7月	16名	169名	27日	63%
8月	16名	196名	26日	75%
9月	16名	177名	26日	68%
10月	16名	203名	27日	75%
11月	16名	176名	25日	70%
12月	16名	189名	24日	79%
1月	16名	166名	24日	69%
2月	16名	175名	24日	70%
3月	16名	210名	27日	78%

*4月・5月 コロナウイルスによる臨時休校にて利用自粛

*7月・8月 入院・手術(2名)による利用減

*9月台風にて1日休所・1月積雪にて1日休所

登録者内訳(小学生:4名 中学生:10名 高校生:2名)

地域	利用者数	療育手帳	指標該当の有無
佐世保	10名	A1:8名 A2:2名	有:6名 無:4名
平戸	2名	A1:1名 A2:1名	有:1名 無:1名
松浦	3名	A1:2名 無:1名	有:2名 無:1名
佐々	1名	A1:1名	無:1名

(4)年間行事・集会等

月	合同行事	施設行事	会議・研修	その他
4月		誕生会	18 モニタリング(1名) 19 職員会議	~4/7 春休み 4/21~コロナ休校
5月		誕生会	16・22 モニタリング(2名) 15 職員会議・勉強会	~5/10 コロナ休校

他 3/30 4/1/2/...

25 登壇者増加
2024年2月1日(土) 他
- 日曜開校
- 4/17(水) 他
- 2/11(水) 2/27(水) 他
1/11(水) 2/1(水)

			26 ケース会議(2名)	
6月			24 勉強会 29 職員会議	
7月		誕生会	8 担当者的会議(1名) 11・15・21・28 モニタリング (5名) 16・17 法人研修 28・29 ケース会議(6名) 29 職員会議	6・7・10 大雨警報 学校午後休校
8月		外出支援(ドライブ) 誕生会	26 職員会議・勉強会	8/1～8/31 夏休み
9月	2 パスカ敬老訪問	外出支援(ドライブ)	18・19 モニタリング(2名) 24 職員会議・勉強会	3 台風1日停電 7 台風休校・休所 24 職員健康診断
10月	17 避難訓練 19 魚釣り	外出支援(ドライブ) 誕生会	9 担当者的会議 17・22 モニタリング(2名) 28 職員会議・勉強会 28 ケース会議(2名)	9 集団指導 29 他事業所交流 見学
11月	11 芋掘り	外出支援(ドライブ) 誕生会	21・30 モニタリング(2名) 24・30 ケース会議(3名) 25 職員会議・勉強会	
12月	25 クリスマス会 28 焼き芋会		8・9 法人研修 23 職員会議	12/24～冬休み
1月		誕生会	6・16・19・20 モニタリング (5名) 22・29 ケース会議(5名) 27 職員会議・勉強会	～1/7 冬休み 9 積雪休所
2月	2 節分豆まき	外出支援 誕生会	8・18・23 モニタリング(3名) 26 ケース会議(3名) 26 職員会議・勉強会	
3月	3 ひな祭り会 24 避難訓練	外出支援(ドライブ) 誕生会 お別れ会(卒業生)	13・16 モニタリング(2名) 24 ケース会議(1名) 26 職員会議	15 卒業式(7名) 3/24～春休み 利用終了1名

*コロナ禍における外出支援・行事参加の自粛

【6】高齢者支援複合施設 パスカ

(サービス付き高齢者向け住宅・小規模多機能型居宅介護併設型)

(1) 概要

小規模多機能型居宅介護登録者やサービス付き高齢者向け住宅入居者の高齢化が進み、それに比例するように身体機能の低下や認知症の進行もあり、介護度が上がってきている状況です。令和2年4月1日と令和3年3月1日の登録者数を比較すると28名から25名に減少していますが、平均介護度は上がっており、職員のマンパワー等を考慮しながら調整を図った為です。健康面では、体調不良や転倒などでの緊急入院や、持病の悪化による入院があります。日々の生活の中でのバイタルチェックや問診、普段の様子と違いがないかなど注意しながら観察し、早期発見、早期対応に努めました。

(2) 年間新規登録・解除状況

新規 (登録・入居)	性別	種類	退所 (解除・退去)	性別	種類
なし			R2.5.31	男性	併用
			R2.10.7	男性	併用
			R3.2.22	女性	併用

(3) 介護度の変化

比較月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均
R2.4.1	1	3	5	4	8	3	4	2.55
R3.3.1	1	2	3	4	7	4	4	2.79

小規模多機能型居宅介護登録定員:28名
要支援 1:0.375、要支援 2:0.75 で算出

(4) 利用者支援

① 生活支援

・コロナウイルス感染症対策を講じながら、時節ごとに事業所にて催しを行い、利用者へご紹介して、参加して頂いています。その際、気分が乗られなかったり、人が沢山集まる場を好まれない利用者に関しては、無理にお誘いをしないようにしています。

- ・利用者の誕生日に、本人が食べたいものを聞き取りし、提供しています。他利用者や職員でお祝いをしています。
- ・1年に1度利用者が叶えたいこと(身体状況や経済状況等を考慮して実現可能なこと、例えば、長崎の帆船祭りを見に行きたい、等)を叶える日を提供する計画を立てていましたが、インフルエンザやコロナウイルス感染対策の為、中止しました。状況が改善し次第、実行していきます。
- ・地域の方々との交流を深める為に、日々の活動の中で雑巾作りを行い、近隣の幼稚園や小学校などを対象に利用者と共に訪問し、寄贈していましたがコロナウイルス感染症拡大の為、本年度は中止しています。運動会やお遊戯会への参加も中止しています。状況が改善され次第、再開したいと思います。
- ・身体拘束、虐待に関する職員研修を事業所内研修にて実施し、支援業務内にて身体拘束、虐待がないように取り組んでいます。

② 食事

- ・利用者の状態に合わせた食事の提供(アレルギーやきざみ食対応など)を行い、摂取量を把握しています。摂取量が少ない場合には利用者本人に聞き取りを行い、対応可能な内容であれば出来る限り対応しています。
- ・身体状況を踏まえ、食事摂取に関して、全面的に支援が必要な利用者や水分にとろみを付けて提供する利用者に対して主治医や看護師、職員と協議しながら方法を検討しています。

③ 健康管理

- ・毎日の健康チェック(バイタル測定・問診・様子観察など)を行い、異常時には看護職員や主治医、ご家族へ速やかに報告し、早期の対応を心がけています。
- ・毎食前の口腔体操の実施や口腔ケアを行っており、嚥下咀嚼機能の維持・向上に努めています。
- ・利用者やご家族に主治医への定期受診を促し、主治医へは職員が同行したり、文章にて、日常生活の様子やバイタルなどの情報提供を行い、医療との連携に努めています。
- ・高齢者が発病(症)しやすい病気や感染症拡大防止に関する事業所内研修を実施し、日々の利用者の観察や業務内において留意しながら行っていく内容の共有化を図っています。
- ・インフルエンザやコロナウイルス等感染症予防の対策の為、一年を通じて、次亜塩素酸水の噴霧や手指消毒を行っています。また、職員に関しましてもN-CHATの導入や出勤前のバイタル測定、小まめな手指消毒、密になりやすい場所や県外への外出の自粛などを徹底し、事業所にウイルスを持ち込まない為の対策を図っています。

④ 建物設備

- ・建物内外の設備に対して点検を行い、必要に応じて修繕や導入を行っています。(事業所駐場の平たん化。スプリンクラーの基盤不具合の為、交換。事務所や各居室のエアコンの洗浄。など)

(5)年間行事報告(令和2年度)

月	事業所行事等	支援関係・外部行事・その他
4月	避難訓練、お花見、誕生会	理事長訓示、運営推進会議、防災訓練 職員会議・勉強会
5月	母の日、端午の節句、誕生会	防災訓練、職員会議・勉強会
6月	避難訓練、父の日、レク大会 誕生会	運営推進会議、防災訓練、職員会議・勉強会
7月	七夕、誕生会	防災訓練、職員会議・勉強会、法人研修
8月	誕生会	運営推進会議、防災訓練、職員会議・勉強会
9月	敬老会、誕生会	健康診断、防災訓練、職員会議・勉強会
10月	誕生会	運営推進会議、地域福祉施設合同のレク大会 防災訓練、職員会議・勉強会
11月	避難訓練、鍋会、誕生会	インフルエンザ予防接種 消防立入検査(書面)、職員会議・勉強会
12月	クリスマス会、誕生会	運営推進会議、防災訓練、職員会議・勉強会 法人研修
1月	新年会、誕生会	防災訓練、職員会議・勉強会
2月	節分、誕生会	運営推進会議、防災訓練、職員会議・勉強会
3月	避難訓練、ひな祭り、誕生会	健康診断、防災訓練、職員会議・勉強会

【7】賃貸住宅(社員寮・アパート) 神羊館

(1) 概要

賃貸住宅	(社員寮・アパート)	
1階	3室	
2階	3室	計6室

(2) 年度末状況

一般契約	2室入居中
社員寮	1室入居中
法人	1室
他	2室 空室

(3) 年間利用状況

月	利用戸数	内訳	空室
4月	2	一般(1)社員寮(1)法人(1)	3
5月	2	〃	3
6月	2	〃	3
7月	2	〃	3
8月	2	〃	3
9月	2	〃	3
10月	2	〃	3
11月	2	〃	3
12月	2	〃	3
1月	2	〃	3
2月	2	〃	3
3月	3	一般(2)社員寮(1)法人(1)	2

(4) 令和3年度 事業の実施内容

4室 運用を不動産業者へ委託し収益を図る予定です。

契約日 2021年3月1日

1室 社員寮

1室 法人

【8】生活困窮者女性支援

カリタス佐世保ファミリーサポートセンター

(1)概要

現在、休所中です。

担当職員の配置など環境が整い次第、再開出来ればと考えています。